

昭和31年(1956年)	役場所在地を中之島から鹿児島市に移転し、中之島には支所を置いた。
昭和33年(1958年)	村営定期船として「第20島丸」(鋼船253トン)が就航した。
昭和35年(1960年)	中之島に電話が開通した。
昭和36年(1961年)	口之島に電話が開通した。
昭和37年(1962年)	口之島、中之島、宝島、平島、悪石島に電気利用農業協同組合を設立し、電気事業を導入した。
昭和40年(1965年)	40年～44年にかけて給水施設(簡易水道)が完成し、諏訪之瀬島、小宝島を除く各島の全戸に給水を開始した。 役場庁舎(鉄筋4階建)が完成した。
昭和43年(1968年)	中之島港に「第20島丸」が接岸し、十島村では最初の接岸港となった。
昭和44年(1969年)	十島会館が営業を開始した。
昭和45年(1970年)	臥蛇島民が全員移住し、無人島になった。
昭和46年(1971年)	村営定期船として「第30島丸」(鋼船496トン)が就航した。
昭和48年(1973年)	十島村の行政区が大島郡から鹿児島郡に変更された。
昭和53年(1978年)	口之島、中之島、悪石島、小宝島、宝島の電気事業を九州電力㈱に移管し、操業を開始した。
昭和54年(1979年)	中之島地域の電話がダイヤル化され、一般加入電話が開通した。 平島、諏訪之瀬島の電気事業を九州電力㈱に移管し、操業を開始した。
昭和55年(1980年)	製氷施設が口之島及び中之島に整備された。
昭和56年(1981年)	行政連絡船「とから幸風」(FRP19トン)が就航した。
昭和58年(1983年)	製氷施設が平島及び悪石島に整備された。
昭和59年(1984年)	製氷施設が諏訪之瀬島及び宝島に整備された。
昭和60年(1985年)	小宝島の城之前漁港に漁船上架施設が整備された。 村営定期船として「としま」(1,090トン)が就航した(月間8航海の運航となった)。
昭和61年(1986年)	中之島の中之島港及び平島の南之浜港に漁船上架施設が整備された。
昭和62年(1987年)	第1回村民体育大会を十島村総合運動公園で開催した。 第1回文化の祭典「セブン・アイランド89」を中之島で開催した。
平成元年(1989年)	悪石島共同利用施設が整備された。 悪石島に湯泊温泉保養センターが整備された。
平成2年(1990年)	ふるさと創生事業で中之島に天文観測施設、展望台、登山道等が整備された。 小宝島港に定期船「としま」が接岸し、十島村から舳による通船作業が消えた。 宝島に航路待合施設が整備された。 口之島にさとの湯温泉保養センターが整備された。 宝島の前籠漁港に漁船上架施設が整備された。
平成3年(1991年)	天文観測施設に60センチ「カセグレン」式反射望遠鏡を導入した。 高速観光船「ななしま」(軽合金38トン)が就航した。 各島のへき地診療所に、遠隔問診(静止画像伝達)システムを導入した。 小宝島共同利用施設が整備された。
平成4年(1992年)	トカラ列島が県立自然公園の指定を受けた。 小宝島に航路待合施設が整備された。
平成5年(1993年)	中之島に十島村歴史民俗資料館が開館した。 焼却施設が悪石島に整備された。 平島、宝島に共同利用施設が整備された。
平成6年(1994年)	第1回国際水中映像祭を中之島で開催した。 小宝島温泉保養センターが整備された。 中之島に十島総合開発センター洗濯施設が整備された。 諏訪之瀬島に共同利用施設が整備された。
平成7年(1995年)	第2回国際水中映像祭を中之島で開催した。 平島にあかひげ温泉保養センターが整備された。 宝島に大籠レクリエーション施設が整備された。
平成8年(1996年)	トカラマリンフェスタを宝島で開催した。 焼却施設が口之島および中之島に整備された。 宝島に大型洗濯施設が整備された。 口之島に家畜保護施設が整備された。 平島に共同利用家畜保護施設が整備された。
平成9年(1997年)	畜産組合結成・市場出荷10周年記念大会が口之島で開催された。

■村名呼称の変遷



■十島村略年表

明治4年(1871年)	廃藩置県が実施されたが、十島村では在番がそのまま郡司・横目とともに行政を担当した。
明治8年(1875年)	在番が引き揚げ、口之島、中之島、宝島、硫黄島に戸長が置かれた。
明治12年(1879年)	中之島に惣代の役が生まれた。口之島、中之島、宝島の戸長取扱事務所が戸長役場となった。
明治13年(1880年)	川辺郡十島の戸長は、統治上の都合により官選で任命されるようになった。
明治17年(1884年)	県令の命により、県勸業課長は川辺郡十島村を調査し、「七島問答」・「十島図譜」を著して報告した。
明治18年(1885年)	地租改正による地押調査が実施された。 川辺郡十島は、川辺郡のまま金久支庁(現大島支庁)の管轄となった。
明治22年(1889年)	川辺郡十島は、「市町村制を実施せざるを得ない島嶼指定の件」で、市町村制施行から除外された。しかし、同年4月1日から中之島に、中之島外9島に1戸長が置かれ、十島村全体を統治した。
明治30年(1897年)	十島村は川辺郡から分離され、大島郡十島となった。
明治41年(1908年)	十島航路は大洋商船の受命航路となり、定期船が通うことになった。しかし、定期船とは名ばかりであった。島嶼町村制が施行され、同年4月1日に「十島村(じっとうそん)」が発足した。
大正5年(1916年)	中之島に大島警察署中之島駐在所が設置された。
大正9年(1920年)	本土並の市町村制が4月1日から施行された。 5月には村長と議会議員の初めての選挙が実施された。また、助役制度も導入された。
昭和4年(1929年)	大島郡産業振興十年計画により、十島村でも施策を推進するため、予算化して産業の振興に乗り出した。
昭和5年(1930年)	十島村に「小学校令」が施行され、各島に村立小学校が発足した。
昭和6年(1931年)	収入役制度を導入した。
昭和8年(1933年)	念願の村営定期船「十島丸」(鋼船155トン)が就航し、月間往復4航海を運航した。(中之島に記念碑がある。「汽船も亦道路なり」)
昭和10年(1935年)	中之島に中之島郵便局が設置された。
昭和16年(1941年)	新造船「金十丸」(鋼船570トン)が村営定期船として就航した。
昭和20年(1945年)	終戦。
昭和21年(1946年)	連合国軍総司令部の命で北緯30°で上三島(竹島、黒島、硫黄島)と分離され軍政下に置かれた。
昭和22年(1947年)	軍政府による巡査派出所が中之島、口之島、宝島に設置された。
昭和24年(1949年)	口之島に電信局を設置し、名瀬との無線電信を開始した。
昭和26年(1951年)	十島村では、本土復帰運動が起こり、1,970人が署名した。
昭和27年(1952年)	本土復帰運動により、同年2月4日に十島村が本土復帰し、同年2月10日から「十島村(としまむら)」として発足した(上三島は三島村として同日に発足した)。 中之島、口之島、宝島の三島と鹿児島との無線電信が開始された。 中之島全戸に8時間送電の電気事業が始まった。 十三島船舶交通事業一部事務組合が設立された。 宝島に村立宝島診療所が開設された。
昭和28年(1953年)	村営定期航路に「八島丸」(木造船70トン)が就航した。 中之島に村立中之島診療所が開設された(医師が常駐した)。 十三島船舶交通事業一部事務組合を解散した。
昭和29年(1954年)	三島村との財産分配により村営定期航路に「十島丸」が就航した。 中之島、口之島、宝島の派出所は廃止され、鹿児島警察署の管轄となり、三島とも警察官駐在所となった。 口之島に村立口之島診療所が開設された。

平成16年(2004年)	悪石島小中学校体育館が完成した。
	防災行政無線の部分運用が始まった。
	十島村歴史民俗資料館がリニューアルオープンした。
	水道事業が水道特別会計に移行した。
	十島村長選挙、十島村議会議員選挙が開催された。
	十島村昆虫保護条例が制定された。
	悪石島に荷積崎観光レクリエーション施設が整備された。
	諏訪之瀬島において、鹿児島県及び関係機関合同での離島火山防災訓練、防災点検が実施された。
	諏訪之瀬島の元浦港に漁船上架施設が整備された。
平成17年(2005年)	口之島の西之浜漁港に漁船上架施設が整備された。
	全島に小型合併処理浄化槽が整備された。
	十島村歴史民俗資料館の展示物リニューアルが完了した。
	諏訪之瀬島診療所が老朽化により新設された。
	口之島に家畜保護施設を整備し、牛発情発見システムの導入が開始された。
	防災行政無線通信設備が整備完了し、全面運用が開始された。
	「フェリーとしま」のバリアフリー化整備が行われた。
	口之島で鹿児島地区植樹祭が開催された。
	NPO法人トカラインターフェイスが役場旧庁舎1階に特産品販売所をオープンした。
	十島村指定金融機関としてJAグリーン鹿児島農協と契約、調印した。
	中之島で、スローライフ「トカラへの旅」が開催された。
	初出荷から8年目にして、サンセベリア出荷額が1,000万円を突破した。
	鹿児島県議会の企画建設委員会が口之島、中之島、平島を視察した。
	宝島に農産物集出荷施設が整備された。
	口之島、諏訪之瀬島に堆肥舎施設が整備された。
平成18年(2006年)	口之島に大型洗濯機、大型乾燥機が整備された。
	諏訪之瀬島に諏訪之瀬島レクリエーション施設が整備された。
	2009年トカラ列島皆既日食カウントダウン 2006 in SUWANOSEが開催された。
	十島村友好島民制度の導入を開始した。
	高齢者の生活支援、介護予防体制の構築、保健医療福祉の実態調査、研究を実施した。
	第1回トカラ列島島めぐりマラソンを開催した。
	中之島において、鹿児島県及び関係機関合同での離島火山防災訓練、防災点検が実施された。
	口之島において、第1回国民保護訓練(実動訓練)が実施された。
	鹿児島県知事が「知事と語る会」に併せて有人7島を視察した。
諏訪之瀬島火山避難壕が完成した。	
平成19年(2007年)	「トカラいきいき教室」事業が開始された。
	宝島家畜保護施設が完成した。
	平島東之浜海水浴場が完成した。
	十島村役場組織機構の改編を行い、企画観光課と船舶課を廃止し、5課を3課とした。
	自動体外除細動機(AED)を、口之島、中之島、宝島、「フェリーとしま」に整備した。
	村政100周年記念シンポジウムとして、「翔けトカラ・産業まつり〜チャレンジ、トカラライフ〜」が口之島で開催された。
	諏訪之瀬島小中学校体育館が完成した。
	全国瞬時警報システム(J-ALERT)を整備した。
	中之島椎崎地区に緊急時用ヘリポートが完成した。
	平島に大型洗濯乾燥機が整備された。
	悪石島、小宝島に堆肥舎施設が整備された。
	諏訪之瀬島に被覆栽培施設(ビニールハウス)10棟が整備された。
平成20年(2008年)	諏訪之瀬島生活改善施設が完成した。
	鹿児島県議会の総務警察委員会が口之島、中之島、諏訪之瀬島、悪石島を視察した。
	中之島、平島の一部で地上デジタル放送の試験放送が開始された。
	自動体外除細動機(AED)を、平島、諏訪之瀬島、悪石島、小宝島、役場本庁に整備した。
	口之島で村内初となる受精卵移植による子牛が誕生した。
	宝島に共同利用家畜保護施設、堆肥舎施設、機械倉庫兼作業場施設が整備された。
口之島に家畜育成施設が整備された。	

平成9年(1997年)	村営諏訪之瀬島飛行場を設置した。
	焼却施設が悪石島に整備された。
	平島に家畜保護施設、堆肥舎施設が整備された。
	宝島に宝島友の花温泉保養センターが整備された。
平成10年(1998年)	宝島に鮮魚加工センターが整備された。
	交通船「ななしま2」(軽合金19トン)が就航した。
	生ごみ高速発酵処理施設が平島に整備された。
平成11年(1999年)	中之島に七ツ山キャンプ場施設が整備された。
	小宝島赤立神海水浴場が整備された。
	平島テレビ共聴施設が整備された。
平成12年(2000年)	生ゴミ高速発酵処理施設が諏訪之瀬島に整備された。
	島内外交流イベント、「パラダイストカラ in AKUSEKI」が開催された。
	トカラ山羊飼育施設が完成した。
	諏訪之瀬島テレビ共聴施設が整備された。
	生ゴミ高速発酵処理施設が悪石島、小宝島に整備された。
	村営定期船「フェリーとしま」(鋼船1,389トン)が就航した(週3便体制 月・水・金の定曜日出航)。
	「フェリーとしま」の受付業務が中川運輸へ委託された。
	島内外交流イベント、「パラダイストカラ in AKUSEKI II」が開催された。
	悪石島沖にて群発地震が発生した。
	トカラ列島植樹祭2000が中之島で開催された。
小宝島の城之前漁港に製氷施設が整備された。	
平成13年(2001年)	諏訪之瀬島淡水化施設が完成した。
	鹿児島県立博物館にて「トカラ展」が開催された。
	放射性廃棄物の村内への持ち込み拒否に関する条例が制定された。
	悪石島テレビ共聴施設が整備された。
	小宝島に製氷施設が整備された。
	「フェリーとしま」ターミナルが鹿児島県本港区南埠頭に完成した。
	村立口之島中学校校舎が完成した。
	十島村本土復帰50周年を記念した「トカラ写真・パネル展」がいづろドームにて開催された。
	十島村本土復帰50周年記念式典が中之島にて開催された。
諏訪之瀬島の切石港に漁船上架施設が整備された。	
平成14年(2002年)	国内最大級と思われる魚木が口之島で発見された。
	中之島に農産物集出荷施設が整備された。
	有人各島のヘリポートに照明施設が整備された。
	口之島に航路待合施設が整備された。
	宝島イマキラ岳展望施設が整備された。
	自動車放置防止条例が制定された。
	口之島平瀬海水浴場が完成した。
	中之島天文台に天文台長が配置された。
	中之島診療所に医師が常駐するようになった。
	市町村合併に関する住民意識調査が実施された。
	全国小さな村の教育サミットが口之島及び中之島で開催された。
	夏休みアドベンチャー「冒険宝島」が宝島にて開催された。
	十島村中学校連合体育大会が吉田町で開催された。
	交流イベント、「パラダイストカラ in TAIRA」が平島で開催された。
小宝島淡水化施設が完成した。	
平成15年(2003年)	口之島に平瀬レクリエーション施設が整備された。
	サンセベリアのビニール栽培が口之島で始まった。
	「トカラの学校を見に行こう」ツアーが開催された。
	夏休み冒険アドベンチャー「2003冒険宝島」が開催された。
	産業イベント、「トカラ海峡産業まつり」が口之島で開催された。
悪石島に家畜保護施設が整備された。	
悪石島のやすら浜港に製氷施設が整備された。	

平成26年(2014年)	小宝島分校に体育館を新設した。
	鹿児島市のみなと大通り公園にて十島村農林水産祭を開催した。
	中之島、諏訪之瀬島に共同利用家畜保護施設が整備された。
	中之島に被覆栽培施設(平張施設)8棟が整備された。
	中之島に被覆栽培施設(ビニールハウス)が整備された。
	宝島に被覆栽培施設(平張施設)2棟が整備された。
	水産加工施設が中之島及び平島に整備された。
	第1回十島村航路検討委員会を開催した。
平成27年(2015年)	中之島歴史民俗資料館・天文台・トカラ馬管理人として非常勤職員を配置した。
	東京にて初めての村単独での定住希望者向けのイベントを開催した。
	十島村産ビワ出荷30周年セレモニーを開催した。
	第1回～第4回十島村航路改善協議会を開催した。
	航路改善計画を策定した。
	諏訪之瀬島に被覆栽培施設(平張施設)4棟が整備された。
	諏訪之瀬島に農業用水施設が整備された。
	悪石島に被覆栽培施設(平張施設)4棟が整備された。
	悪石島に農業用水施設が整備された。
	中之島高尾地区に農産物集出荷施設が整備された。
	中之島に被覆栽培施設(平張施設)4棟が整備された。
平成28年(2016年)	諏訪之瀬島に共同利用飼料機械倉庫が整備された。
	口之島に瀬良馬温泉交流館が整備された。
	第30回国民文化祭・かごしま2015十島村国民文化祭「トカラの伝統芸能祭」が開催された。
	平成27年4月1日より「フェリーとしま」の寄港順路が変更になる。 (口之島⇄中之島⇄諏訪之瀬島⇄平島⇄悪石島⇄小宝島⇄宝島)
	各島公共施設にて公共無線LANを設置・開設した。
	十島村立の全小・中学校で土曜授業が始まった。
	村で初めての子育て支援拠点施設「子育て広場いまきら園」が宝島で開園した。
	小規模多機能ホームたからで3周年記念イベントが開催された。
	介護予防・日常生活支援総合事業として「口之島なごみの里」を開園した。
	平成27年度鹿児島地域植樹祭が宝島で開催された。
	十島村に2箇所目の子育て支援拠点施設「ほしのご園」が中之島で開園した。
	第2回～第4回十島村航路検討委員会を開催した。
	第1回十島村船舶建造技術審査委員会を開催した。
	口之島、悪石島、宝島にヒサカキほ場が整備された。
	口之島にサカキほ場が整備された。
平成29年(2017年)	小宝島に被覆栽培施設(ビニールハウス)が整備された。
	中之島に被覆栽培施設(平張施設)4棟が整備された。
	中之島に大型洗濯施設が整備された。
	口之島に家畜分娩施設が整備された。
	口之島の西之浜漁港に新製氷施設が整備された。
	諏訪之瀬島、小宝島の小中学校が分校から本校になった。
	十島村まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」・「総合戦略」を策定した。
	十島村食生活改善推進員連絡協議会が鹿児島県知事表彰を受賞した。
	十島村メール配信サービスの運用を開始した。
	十島村老人クラブ連合会が「100万人会員増強運動特別賞」を受賞した。
	10回目の節目となる「第10回トカラ列島めぐりマラソン大会」を開催した。
	十島村に3箇所目の子育て支援拠点施設「くちこ園」が口之島で開園した。
	十島村食生活改善推進協議会が「南・賀屋賞」を受賞した。
	十島村に4箇所目の子育て支援拠点施設「すわっこ園」が諏訪之瀬島で開園した。
口之島に瀬良馬温泉露天風呂が整備された。	
口之島に機械倉庫兼作業場が整備された。	
第2回十島村船舶建造技術審査委員会を開催した。	
十島村造船所推薦委員会を開催した。	

平成20年(2008年)	悪石島、小宝島に農産物集出荷施設が整備された。
	平島に平島東之浜レクリエーション施設が整備された。
	平島に平島大浦レクリエーション施設が整備された。
平成21年(2009年)	2009年トカラ皆既日食が開催された。
	としま会館が3月20日の営業を最後に閉館した。
	健康としま21が開催された。
	第1回トカラふるさと会が開催された。
	宝島に畜産機械格納庫が整備された。
平成22年(2010年)	平島に農産物集出荷施設が整備された。
	中之島コミュニティセンターが完成した。
	全国町村会「優良町村表彰」を受賞。約1,300人を受け入れた「2009皆既日食」への取り組みが高く評価された。
	「フェリーとしま」鹿児島入港便において「移動禁止植物」が発見された。
	十島村各島で地域づくり委員会が発足した。
	小規模多機能居宅介護類似事業 宝島で「やすらぎ教室」が開催された。
	トカラ・ミステリーツアーが開催された。
	「トカラとアジア青年をつなぐ食の文化祭」が開催された。
	各出張所で住民票、印鑑証明書、及び税務関係書類が発行可能となった。
	十島村就業者育成奨励金交付事業が始まった。
	6月議会より、議会ライブ中継が開始された。
	村内で高速インターネットの運用が開始された。
	村HPにて港湾ウェブカメラ・気象情報公開が始まった。
	トカラ民俗写真集が刊行された。
中之島に堆肥舎施設が整備された。	
高速観光船「ななしま2」の指定管理が開始された。	
平成23年(2011年)	空き家活用事業が始まった。
	十島村インターネット接続サービスが開始され、サービス名愛称が「トカラ結ネット」に決定された。
	十島村のタケノコ初出荷式が行われた。
	戸籍事務がコンピュータ化された。
	県ドクターヘリが運航開始された。
	本土復帰60周年及び臥邪島離島40周年を記念した記念式典が盛大に開催された。
	十島村・十島村漁業協同組合・俵山口水産の3者間において急速凍結機を利用した水産物加工の取り扱いに関する協定調印式が行われた。
	公明党国会議員(5名)が十島村を視察した。
	自主防災組織育成会議が開催された。
	諏訪之瀬島、悪石島、小宝島に大型洗濯施設が整備された。
平成24年(2012年)	本土復帰60周年を記念し、各島で記念植樹が行われた。
	戸籍に関する証明書が各出張所で受け取り可能となった。
	トカラ畜産組合が法人として発足した。
	三島村・十島村における大規模な災害時の応援に関する協定が国土交通省九州地方整備局と結ばれた。
	十島村役場組織機構の改編を行い、経済課を廃止、土木交通課・地域振興課を新設し、3課を4課とした。
	「宝島女神山の森林植物群落」が国の天然記念物に指定された。
	十島産牛「みちよ」が第10回全国和牛能力共進会に十島村産として初出場した。
	十島村高齢者見守り支援事業が始まった。
	「フェリーとしま」が東之浜港へ接岸した。
	宝島共生型サービス拠点施設が完成し、介護保険事業サービスが開始された。(委託: 俵浪漫)
	小規模多機能型居宅介護事業所(小規模多機能ホーム たから)が開所した。
平島に共同利用飼料機械倉庫が整備された。	
中之島に被覆栽培施設(平張施設)3棟が整備された。	
平成25年(2013年)	平成25年4月1日より名瀬港の出港時刻を午前4時から午前3時へ変更した。
	平成25年7月1日より「フェリーとしま」が全便名瀬便での運航となる。
	平成25年7月1日より離島住民運賃割引制度を導入した。
	十島村の港がポートオブザイヤーを受賞した。
	自由民主党離島振興特別委員会が村内視察を行った。